

「未来高岡」ステップアップトーク（古府地区）会議記録 ＜要旨＞

1、日 時 平成 28 年 11 月 24 日（木） 午後 7 時 30 分から 8 時 30 分

2、場 所 古府公民館

3、出席者 市民 72 名（うち女性 18 名）

高岡市 市長、経営企画部次長、広報統計課長

4、会議次第

(1) 高岡市総合計画基本構想の紹介

(2) 参加者との意見交換

.....

(1) 高岡市総合計画基本構想の紹介

(2) 参加者との意見交換

参加者

- ・高岡市でも空き家が増えており、放置されると野生動物に荒らされたり空き家を巡って近所トラブルになる可能性がある。まず市が動いて、空き家対策協議会の設置や空き家マップの整備など、空き家対策を早く進めてほしい。

市長

- ・高岡市では以前「老朽空き家等の適正な管理に関する条例」を制定し、空き家バンク¹を設置したり、空き家のリフォームに助成金を出すなど対策を行ってきた。空き家等対策の推進に関する特別措置法が制定され、老朽空き家だけでなく景観上の問題でも強制代執行²として空き家の取り壊しを行えるようになったので、来春には条例を改正し、市民に情報提供できるようにしたい。ただ、助成金の交付制度もあるため、空き家の取り壊しについてはできるだけ所有者等で行ってほしい。

参加者

- ・県外では銅器イコール高岡というイメージがなく知名度が低い。薬といえば富山が出てくるように、銅器といえば高岡がイメージされるよう、高岡は銅器のまちであるということをもっとPRしてほしい。

¹ 空き家の賃貸・売却を希望する所有者から寄せられた情報を市のホームページを通して公開し、定住・住み替えなどで空き家の利用を希望する方に提供するシステム。

² 行政上の強制執行手段の一つで、他人が代わってできる義務の懈怠がある場合に、行政庁が代わってするか、第三者にさせてその費用を義務者から徴収する手続き。

市長

- ・高岡の銅器は知らない人も多いので、銅器のまちであることをもっとPRしていきたい。
現在、東京藝術大学のプロジェクトとして高岡銅器の技術を用いて法隆寺の釈迦三尊像の複製を作っている。このような高岡銅器の鋳物技術や修復技術を産業に還元していきたい。

参加者

- ・雨晴にできる道の駅の工事に伴い、その前面の道路の工事が始まったが、道路の幅員などをロードマップに載せて欲しい。

市長

- ・雨晴観光駐車場からホテルの跡地にかけて道の駅を整備する予定で、今年度から工事を実施し、平成 30 年度の完成を目指している。道の駅には駐車場のほか地域振興施設として物販や飲食機能を備えたい。

参加者

- ・雨晴の道の駅には、多くの人に来てもらえるよう飲食施設を設置してほしい。

市長

- ・どのような店舗が入居するかは決まっていないが、軽食ができる店舗を考えている。

参加者

- ・高岡市では、高岡地区広域圏事務組合で婚活支援事業が行われているが、他市に比べると婚活支援の分野では遅れていると思うので、高岡市独自の婚活支援組織を作りたいと思っている。共創のまちづくり³として市民が主体となって活動したいので、できれば行政からの支援をお願いしたい。
- ・女性はアイデアをたくさん持っておりまちを良くしたいと思っている。女性の知恵を活用し高岡の魅力につなげてほしい。

市長

- ・結婚については、それを後押しするおせっかいが必要だと考え、婚活支援の取り組みを始めた。高岡地区広域圏事務組合で世話人を募集しており、たくさんの応募があったと聞いている。行政だけでなくいろいろな立場からの取り組みが必要だと思うので、市民の皆様にも取り組んでいただき定着していけばいいと思う。
- ・女性のアイデアを活用していきたいと考えているので、対話の機会ももうけていきたい。

³ これまでの市民と行政による「協働」をさらに進め、新たなまちの魅力や地域の価値を市民、団体、企業、大学、地域、行政等が連携して共に創り上げる「共創」によるまちづくりのこと。